

第6学年道徳学習活動案（情報モラル）

長岡市立上組小学校 教諭 水谷 徹平

- 1 主題名 情報を発信することに気をつけることはなんだろう
- 2 目指す子どもの姿 自分や他人の言動の影響を想像し、知的所有権やネチケット、個人情報大切に被害者・加害者にならないよう行動する態度を身に付ける
- 3 本時のねらい 創作物を作り、社会に情報発信するときに、問題が起こる可能性があることに想像をめぐらせ、言動の影響を考える。
- 4 展開

	学習活動	○主な発問・指示・活動 ・予想される児童の反応	●教師の支援と指導上の留意点 ◎資料・準備物など
導入	○総合的な学習の時間で、企画展を広報・宣伝するために行ったことを思い出す	○開催中のこだま美術館企画展「古田洋司展」で情報を発信した場面はなんだろう。 ・児童が作成・ネット上に公開したwebページ ・学区に貼らせてもらったポスター ・ネット上で上映したCM	◎企画展が想起できるオープニングセレモニーや開催中の様子の写真
展開	○資料を読み、CMの試作版を閲覧する。	○資料を読み、CMの試作版を見てみよう。	◎試作品のCMを提示する。 ◎自作資料とワークシートを用意する。
	○問題点や処理しなければいけないことがあれば、どんな問題があるのかを考える。	○この企画案・試作CMを公開することで、問題が起こる可能性があること、確認しなければいけないことと、そう考えた理由を書き込んでみましょう。 ・アーティストの楽曲を無断で使うと、著作権上問題がある。 ・無断で本人の写真を載せることは、本人が嫌がるかもしれない。 ・作者に無断で作品をのせるのは嫌がるかもしれない。	
	○情報指導員から、著作権という観点で解説をもらう。	○情報指導員の岸先生から、著作権・肖像権についての観点で解説をしてもらう。	
終末	○気をつけた方がいいことをまとめる。	○情報を発信するときに、気をつけた方がいいことは何かをまとめよう。	●決めたルールを掲示する紙を用意し、その場で書き入れる。

- 5 参観の視点 子どもの体験に近い自作資料を用いて気付きを促し、判断の根拠を共有化する展開は、情報化社会に生きる上で必要な、言動の影響を考える態度を育むことに有効であったか。

情報を発信することに気をつけることはなんだろう 資料1

() 番 名前 ()

ひろしさんは、コンピュータを使うのが得意な6年生。

総合的な学習の時間の活動で、ポスター作家の秋山先生について調べ、美術館に行って作品を見たり、作品を作る時に大切にしていることを調べたりしました。目を引く絵と練り上げられたキャッチコピー、作品を大切に考えて作りだしている思いがとてもいい学びになりました。

ひろしさんたちは、秋山先生や美術館の良さをもっと多くの人に知ってもらいたいという願いをもち、秋山先生やポスター美術館を紹介するCMを作成しています。完成したら、駅にあるスクリーンやホームページ上で、CMの動画を誰でも見られるようにするつもりです。

「テレビのCMみたいになるとかっこいいな」というグループのメンバーの意見からイメージが決まり、ひろしさんはコンピュータで動画を編集する役割になりました。「秋山先生の写真がホームページに載っていたから、コピーしてCMの中に入れようよ」、「秋山先生のポスターを写真にとって使えるよ」、「かっこいいBGMが流れるといいな」などの意見が出て、見る人の興味を引くように工夫をしたCMの試作品ができたところです。

「こんなCMを作ってみただけど、何か直した方がいいところ、気になるところはあるかな？アドバイス頼むよ」ひろしさんは、あなたに聞いてきました。あなたから見て、アドバイスできることはありますか？

	直した方がいいところ 気になるところ	そう思った理由

